

『海村』を観るのは3回目だったが、やはり進化しているように思われた。

照明に浮き上がったのは、干してある網と右端に隠れるように伏している墓獅子。それは村次郎の詩の世界だった。余分なものは一切なく、ぎりぎりの語句だけが提示される。それが村次郎の詩と私は思ってきた。それを幕開けから観たのだ。

私は童子^{わらし}だった夏を想った。裏おもてなく陽に焼けた童子たちは、膨らんだヤズガリの潜士^{かづぎ}を追っては、カゼを貰うのが嬉しかった。潜士は童子たちより赤く黒く陽に焼け、それがまた羨ましいことだった。

その「漁村」が、いまは「海村」になっているという。吉田正吉の霊は、かつてどのように豊かな海だったか、寂しさを篋めて語り始める。そのことに引きずり込まれた。もはや愚痴にすぎないだろうが、それは、文明という名の所産かもしれない。

舞台上に眼をやりながら、私はまた少年時を泛べる。泳いだこと。ヨコノマ沖のカラツ

マからの帰り、波に揺られ、荒い息を継ぎながら空を眺めたこと。あのとき、ややもすればブクブク沈んでいきそうに疲れていた。それに若い潜士も付き合ってくれた……。正吉によって、薄れていた過去がありありと泛ぶのだった。

村次郎は、詩集『海村』の序に言っている。「海村とは、嘗ては漁村と呼ばれ、幾時代貧しさを強ひられても、海幸景勝に恵まれ、生活環境、人情美しく、まさしく漁業の村、漁民の村であったのだがー。」

この詩に触発された演者は、墓獅子によって呼び出された祖父に想いを語らせる。つまり、潜士の正吉が、漁村だった鮫の「海村」化を語るのだ。

海村とは、〈近代化開発による積年の多収穫、河川海洋汚染などのため、急激な魚介海藻の減少絶滅寸前〉の様相なのだ。それが、演者の動き・語りからひしひしと伝わる。

もしかすれば、それは、古里の衰微を憂う村次郎を、梶谷氏は演劇で訴えようとして

いたのかもしれない。それが、一挙手一投足に見られた。例えば櫓の押し方。手首の動きが順になり逆になる。それが綺麗だった。そして、見事に舟を走らせていて、美的な動きでさえあった。

さらに、それら「海村」は、私の思春期を呼び起こしていた。敗戦直後、だれもが腹を空かせ、鮫の童子たちは浜に下がった。海に潜り何かを探った。私は、高校を終わるまで潜士見習いを続けた。カゼやアワビが本代になり映画代になり、それなりの暮らしができたのだ。

そんなあれこれが、語りが進むにつれて鮮明となり、さらに墓獅子が、わが町の「海村」化を強く思わせたのだった。

筆者近況

平成12年発行の「鮫の神楽—小説・佐藤連平」から、「葉莢の海」「筵旗を立てた男」「おむら」「葦毛崎」「呪縛の旅」など、既刊11冊。すべて、生まれ育った鮫に拘って書いている。

あっちこっちシアターインフォ

文/阿部 幹

一人芝居『海村』を観て
わが町の「海村」化に想いをさせて



日本舞踊第一回ゆかり会



泉紫峰氏の弟子の師範の人達で立ち上げた会で、今回はその中の4名と紫峰氏で踊ります。
【日時】7月2日(土) 13:00開演(12:30開場) 【場所】八戸市公会堂文化ホール
【料金】2,000円(全席自由席)【問合せ】泉彩菜 ☎0178-35-3456

第12回 八戸東高等学校表現科公演



3年舞台の創作ミュージカル「一番前を行け!」は明治時代モノにチャレンジします。表現科公演を総勢89名の生徒で盛り上げていきますので、是非ご来場下さい! 1年生 オリジナルダンス / 2年生 群読 / 3年生 映画 / 2年生 創作ダンス / 3年生 演劇(ミュージカル) 【日時】7月14日(木) 14:00開演(13:40開場) 【場所】八戸市公会堂大ホール 【料金】無料 【問合せ】八戸東高校 ☎0178-43-0262

鈴木順子バレエ教室 第10回発表会



第10回の節目の公演の今回は公会堂で開催します。二部構成、全24作品をご堪能ください。【日時】7月24日(日) 13:00開演 【場所】八戸市公会堂 【料金】無料 【問合せ】鈴木順子バレエ教室 ☎090-1068-1509

演劇空間 **スペースベン**

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、土曜日は14時～、料金は一般前売400円/高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい
八戸市柏崎1-11-8 TEL:0178-43-9876 FAX:050-3588-8350
携帯:080-6025-0990 E-MAIL:owner@spaceben.com URL:http://spaceben.com/



FANS FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP

【FANS予定】第1169～1173回 ※入場無料
「たべり場 2016.7」の開催予定ですが、詳細はホームページで確認するか、お問合せください。

WHAT'S "FANS"? 多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

公演情報配信ご希望の方は、owner@spaceben.com 宛にメールをお送りください。